

# プラズマ・核融合学会誌

第85巻第6号

2009年6月

|  |   |               |
|--|---|---------------|
| 解説                                     | 今さらランダウ共鳴? -パルス波と粒子の相互作用について- ... 鮑本一裕, 北條仁士  | 329           |
| 特集                                     | 核融合プラズマにおける電子サイクロトロン加熱・電流駆動の進展  | 337           |
|  | 1. はじめに .....   | 久保伸           |
|  | 2. ECH・ECCDの基礎, 物理的理解やモデリングの進展<br>..... 福山淳, 前川孝, 濱松清隆, 村上定義  | 339           |
|  | 3. ECH・ECCD実験の進展  |               |
|  | 3.1 ECH・ECCD装置の進展 .....   | 坂本慶司 351      |
|  | 3.2 トカマク, ST装置におけるECH・ECCDの進展 .....   | 諫山明彦, 田中仁 357 |
|  | 3.3 ヘリカル装置におけるECH・ECCDの進展 .....   | 下妻隆, 長崎百伸 368 |
|  | 3.4 直線核融合プラズマ実験装置におけるECHの進展 .....   | 今井剛 378       |
| 講座                                     | 非線形光学結晶とそのプラズマ研究への応用  |               |
|  | 2.1 光パラメトリックチャープパルス増幅システムにおける広スペクトル帯域光発生<br>..... 岡田大, 桐山博光, 中井善基, 田上学, 下村拓也,<br>近藤修司, 金沢修平, 森道昭, 大道博行, 木村豊秋, 田島俊樹  | 384           |
|  | 2.2 フェムト秒紫外光発生および短波長フェムト秒レーザーと<br>ナノクラスター相互作用による高効率X線発生 .....   | 森道昭 389       |
| 研究論文                                   | 高密度ダイバータにおけるプラズマ輸送特性への3次元幾何学効果<br>..... 小林政弘, FENG Yuehe, 森田繁, 増崎貴,<br>CHOWDHURI Malay Bikas, 江角直道, 小林智幸, 山田弘司, 森崎友宏, 大藪修義,<br>後藤基志, 山田一博, 成原一途, 小森彰夫, 本島修, LHD実験グループ | 393           |
| Plasma and Fusion Research 掲載論文アブストラクト | .....   | 403           |
| インフォメーション                              | .....   | 406           |
|  | 幅広いアプローチ活動だより(15)   |               |
|  | 【人事公募】  |               |
| Plasma & Fusion Calendar               | .....   | 408           |
| 本会記事                                   | .....   | 410           |
|  | 第26回年会一般講演の募集/第48回プラズマ若手夏の学校/第25回年会アンケート集計結果  |               |

## 表紙の絵

高温超伝導コイルを磁気浮上させた内部導体装置 RT-1 のプラズマ。直径 50 cm, 重さ 110 kg の内部導体コイルが 100 ミクロンの精度で数時間にわたり安定に真空容器内に磁気浮上している。コイル電流 250 kA がつくるダイポール磁場中に電子サイクロトロン周波数帯の高周波でプラズマを生成し高ベータプラズマ実験を行っている。(Yuichi OGAWA *et al.*, Plasma and Fusion Research Vol.4, 020 (2009) <http://www.jspf.or.jp/PFR/>)

【複写をされる方に】本会は下記協会に複写に関する権利委託をしていますので、本誌に掲載された著作物を複写したい方は、同協会より許諾を受けて複写してください。ただし、日本複写権センター（同協会より権利を再委託）と包括複写許諾契約を締結されている企業の社員による内利用目的の複写はその必要はありません。（社外頒布用の複写は許諾が必要です）権利委託先：学術著作権協会 Tel: 03-3475-5618 E-mail: info@jaacc.jp  
なお、著作物の転載・翻訳のような複写以外の許諾は、学術著作権協会では扱っていませんので、直接発行団体へご連絡ください。  
また、アメリカ合衆国において本書を複写したい場合は、次の団体に連絡してください、

Copyright Clearance Center, Inc. (CCC) (222 Rosewood Drive, Danvers, MA 01923, USA Tel 1-978-750-8400; Fax 1-978-646-8600)